



公益財団法人日本テニス協会
会 長 深澤 祐二

今年も、第40回目となるテニス日本リーグを盛大に開催できますことを大変嬉しく思うとともに、長く厳しい戦いを経てこの場に集った選手、監督、コーチの皆様、彼らを支え、応援されているご家族や同僚、友人の皆さま、そして実業団テニスの活動にご理解とご支援をいただき、その発展にご尽力を頂戴している各企業の皆様に、心より出場のお祝いを申し上げます。

本大会は、実業団テニスの最高峰の大会です。国際大会に出場経験のある選手をはじめとする国内トップクラスのプロ選手とともに、企業に勤め日頃の業務とテニスを両立させて出場する選手たちが一丸となって、日本における団体戦の頂点を目指すものであり、その熱い戦いは、必ずや観戦される方々の共感と呼び、見事、優勝を果たされたチームに与えられる栄誉は、所属企業や地域の皆さまに元気と感動を与えるものです。

私たち日本テニス協会も、この場に集まった皆さまと、応援されている方々の熱い思いを通じて、テニスの素晴らしさが、広く共有されることを願っております。

最後になりましたが、ご後援をいただいております日本経済新聞社様、ヨネックス株式会社様をはじめとする多くの協賛会社様、大会開催・運営にご尽力を頂戴しております、すべての関係者の方々に心よりの感謝を申し上げますと共に、選手の皆さんのご健闘と、ここに集われた皆さまのご健勝をお祈りし、あいさつとさせていただきます。



公益財団法人日本テニス協会
国内大会委員長
第40回大会ディレクター

富岡 好平

本年も関係各位のご尽力により、「テニス日本リーグ」が盛大に開催できますことを、大変嬉しく思います。また、本大会が1987年の第1回大会開催以来、節目となる第40回を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

この40年の間、社会環境や企業スポーツを取り巻く状況は大きく変化しましたが、関係者の皆さまの情熱と努力により、日本リーグは着実に発展し、国内テニス界を代表する大会へと成長してまいりました。これまで運営やチーム活動に携わってくださったすべての皆さまに、深く敬意と感謝を申し上げます。

今大会には、プロ・アマを問わず多くのトップ選手が所属する男子18チーム、女子12チームが出場し、全国各地で熱戦を繰り広げます。団体戦ならではの緊張感やチームの絆、そして観客の応援が一体となって生み出す雰囲気は、まさにこの大会の大きな魅力です。

近年では、プロ選手とアマチュア選手が同じチームでプレーする姿も増え、互いに刺激を受けながら高め合うことで、新たな価値を生み出しています。私は、この「プロとアマが融合する団体戦」という日本リーグならではのスタイルは、今後の日本テニスの可能性を広げる重要な形だと感じています。

大会を通じて多くの選手が成長し、社会人として、また競技者として活躍の場を広げていくことを心から願っています。そして本大会が、企業スポーツの意義や、スポーツを通じた人と人とのつながりの尊さを改めて感じられる機会となれば幸いです。

最後になりましたが、長年にわたりご後援を賜っております日本経済新聞社様、ご協賛のヨネックス株式会社様をはじめ、主管・運営にご尽力いただいております各地域テニス協会、都県テニス協会、並びに関係者の皆さまに深く感謝申し上げ、ご挨拶いたします。